

旭運輸

グリーン経営を取得

廃棄物処理管理や省エネ運転励行

【愛知】日本郵船グループの旭運輸(秋野聖社長、名古屋市中区)は2月26日、グリーン経営の認証を取得した。

これまで同グループの環境プロジェクトの動きを通して環境活動を行ってきた同社だが、今後ますます環境に対する企業の社会的責任が高まると予測し、同認証取得を決断。昨年度初めに、高木勝美氏や安江敦氏ら企画グループが事務局とな

り、環境方針を定めて10月から取り組んできた。認証を取得したのは、同社と協力会社の新興海運(榊原高明社長、同)で、登録範囲は本社と名古屋流通センター、飛鳥コンテナセンターの3拠点。具

体的な取り組みとしては、フォークリフトの廃タイヤやバッテリーなど廃棄物の処理を業者との間で明確に管理することにした。

そのほか、社員のエネアイデアや環境に関する法令など、さまざまな情報を盛り込んだ「エコニュース」を話す。

(加藤 崇)

発行。全社員にメール配信し環境意識を高めてきた。

高木氏は「認証取得を契機に、今後も企業の社会的責任として環境保全への取り組みを推進していきたい」と話す。



登録証を持つ高木氏(右)と安江氏